

神福下集落「集落営農ビジョン」

作成日：令和 元年 7 月 16 日
 修正日： 年 月 日

市町村名	日南町	組織名	神福下集落営農組合	
1 地区の範囲 日野郡日南町神福地区（太田、神戸、中野、飛時原集落）				
2 地区の概要				
水田面積 41.596 h a		主な水田栽培作物：水稲		4 集落農家数 31 戸
認定農業者数 3 経営体		人・農地プランの中心となる経営体数 7 経営体		
3 組織の概要				
設立時期（規約等の制定日）平成 22 年 2 月 27 日			構成農家数 21 戸	
組織形態（該当形態に○を記入） <input type="checkbox"/> 共同利用型 <input checked="" type="checkbox"/> 作業受託型 <input type="checkbox"/> 協業経営型				
4 集積（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標				
【項目】		【現状】	【目標】 令和 3 年度	
農地の集積	集積面積 A	27.876 h a	27.919 h a	
	対象水田面積 B	34.510 h a	33.946 h a	
	集積率 A/B	80.8 %	82.2 %	
	地区外集積面積 C	4.596 h a	4.753 h a	
	経営面積 A + C	32.472 h a	32.672 h a	
世代交代への取組		—	—	
新規就農者の活動参画		—	—	
5 添付資料 集積状況一覧（別表 1、2）、機械の利用計画（別紙）、規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）				
注 1）目標年度は、事業実施最終年度の翌年度から 3 年以内のいずれかの年度で設定すること。 2）経営面積等の現状及び目標は、集積状況一覧（別表 1、2）により作成すること。				

I 集落営農に対する基本方針

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】

1 担い手の明確化及び水田利用集積目標

神福下集落営農組合は、地域内遊休農地の発生防止及び、主要農作業を請け負う担い手として位置づけ、平成22年に神福地区4集落（太田、神戸、中野、飛時原）の有志22名により立ち上げた。

当組合は、機械の共同利用及び作業受託を行うことで、水稻を中心とした土地利用型作物の生産性の向上及び機械利用の効率化を図ってきた。また、地域内農地の多くは当組合に属する組合員に集積するなど、農地維持にも努めている。

近年、地域内農業者の高齢化から1名が離農されたが、当該農地は地域内の担い手農業者へ集積し耕作することで、遊休農地の発生を防止している。

今後、地域内の未集積農地については、同地域内にある担い手と連携しながら農地集積していき、作業受託等による地域農地維持の受け皿となる考えである。

2 水田の作付計画（水稻以外の作物を含む）、活用方針・具体策

現在、神福下集落ではコシヒカリを中心にヒメノモチ、ヒトメボレを約37ha作付けしており、当面は食用米を中心とした水稻栽培に取り組む。転作作物としては、そばを主体として行っているが、長雨等の気象災害に影響されやすいことから、平成30年度に暗渠排水工事を行い圃場の排水性の改善に努め、収量の向上を狙いたい。

また、小区画等の生産性が低い農地については、白ねぎやトマト等の収益性の高い野菜の栽培にも労働力を勘案しながら検討をしていきたい。

3 農業用機械施設の効率利用

<集落内の機械設備について>

当組合では、田植機、コンバイン乾燥機を所有しており、地域内の受託作業を行っている。また、トラクター等の未所有機械については、地域内の所有農業者との連携した作業委託または共同利用を行うことで、地域資源の有効利用を図っている。

<乾燥機について>

平成22年度多様な集落営農支援事業により50石の乾燥機を導入し、平成29年度集落営農体制強化支援事業で色彩選別機等の調製設備を導入し、地域内農地の農作業面積の集積を図ってきた。

現在は、神福下集落では当組合が所有する50石の乾燥機1台しかなく、同地域の乾燥調製を一挙に担っている。しかし、集落内農業者の高齢化に伴い作業受託面積が増加してきており、現有の1台では乾燥調製処理能力が追いつかないことから、水稻収穫が遅れてしまい、結果として、品質低下及び歩留まり低下による収量の低下を招いている。

そのため、既存の50石乾燥機と合わせて、新たに45石の乾燥機を導入し、乾燥処理能力を向上させることで、水稻収穫の遅れを改善し、品質・収量の向上及び地域農地の維持に貢献していきたい。

4 世代交代、組織の後継者育成に関する方針

当組合では、以下のとおり世代交代や後継者育成に関する方針を検討している。

○世代交代について

- ・地域住民全体で農地や水路及び農道の維持管理、景観の保全について、集落内での話し合いを継続し、次の世代に継承していく。
- ・当組合における農業機械及び設備等の整備を進めることで、現在、会社等に勤めている若手が地域の後継者となる際の受け入れ体制を充実していく。

○後継者育成について

- ・現在、兼業で農業をされている方を対象に、機械オペレーターとしての技術指導及び、資格取得や研修を受講してもらうなどの後継者育成に努めている。

5 経営多角化の方針・具体策

II 農業用機械施設の整備方針

1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定年月	本事業による導入機械に○
乾燥機	45石	1	2,257,000	9月	○